

交通安全指導員さん

学校の校門の所でいつもぼく達の横だんを見守ってくれている交通指導員さんは、ほとんども休むことなく安全を見届けてくれています。

ぼくが1年生の時、月曜日は4時間なので午後1時半には立ってくれました。今年5年生になったぼくは、同じ月曜日に委員会活動がある日には、午後3時半に帰ります。その時も交通指導員さんは見守ってくれています。つまり、2時間以上横だん歩道の所で交通指導をしていてくれるのです。また、午前中で糸冬わり、12時頃帰る時でも必ず見守りに来てくれます。きっと自分の予定もあると思いますが、ぼく達に合わせて来てくれるのは、すごく大変なことだと思います。

今年は、6月の糸冬わりと急に雨がふって

きて大雨になったことがありました。そうしたら黄色いカッパを着て長ぐつをはいて、ぬれながらでも見守りを糸売ってくれていました。「雨にも負けず 風にも負けず 雪にも夏の暑さにも負けず 丈夫な体を持ち 谷欠はなく決して怒らず いつも静かに笑っている」という宮沢賢治の言の葉のようにけんきょで自己びせいの精神を持った人、それが校門で毎日交通指導をしていてくれるおじさんです。

おじさんは止まってくれた運転手さんにも「ありがとう」と頭を下げています。これからは、ぼくがおじさんにも、運転手さんにも「ありがとう」と声に出して感謝したいです。

「あ り が と う」

横断
台

横断
中